

2014 年 7 月 31 日

マツダ株式会社

2015 年 3 月期 第 1 四半期 決算発表 主な質疑応答

1. **第 1 四半期の営業利益 対前年 199 億円改善の主要因は何か。**
 - A. 引き続き好調な CX-5、Mazda6 に加え、グローバルに導入・展開が進んだ
新型 Mazda3 の販売増による台数構成の改善と、コスト改善効果によるものです。

2. **メキシコ工場の生産状況はどうか。**
 - A. 2014 年 3 月期第 4 四半期の生産台数は 1 万台、当四半期の生産台数は 1 万 5 千台と
生産台数は着実に増加しており、計画通り順調に進捗しています。今後も、品質に万全
を期すために、サプライヤーと協働してまいります。

3. **国内販売の消費税影響についてどう考えているか。**
 - A. 量販車種である現行デミオがモデル末期を迎えている影響もあり、今四半期は対前年
で 21%減の販売となりました。今後も、適正在庫の管理と正価販売は継続し、マツダの
提供価値を伝える広告宣伝活動の強化や、今秋以降新型デミオの投入などにより、台
数のリカバリーを図ります。

#####